

診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

当院では下記の疾患で治療を受けた動物の診療記録を用いた臨床研究を実施しております。この研究の実施による動物への新たな負担は一切ありません。

1) 対象

猫伝染性腹膜炎に罹患し、下記の研究実施機関において2022年4月～2023年11月までにレムデシビル[®]の静脈投与、GS-441524の経口投与による治療を受けた動物

2) 研究実施機関

モリタ動物病院、神戸アニマルクリニック

3) 本研究の目的

猫伝染性腹膜炎は、猫伝染性腹膜炎ウイルスによる致死的なウイルス性疾患です。現在、抗ウイルス薬であるレムデシビルやGS-441524を用いた治療により、多くの動物を救命できるようになった一方で残念ながら治療後に短期間で亡くなってしまうケースも約10%で認められております。現在まで、これらの抗ウイルス薬を用いた治療を実施した際に死亡するリスクが高いかどうかについて研究した報告はほとんどありません。治療開始時に死亡リスクが高い動物を同定することは、治療開始時における集中的な管理や新たな治療方法の開発に役立ちます。本研究ではレムデシビルおよびGS-441524による治療を受けた猫伝染性腹膜炎の動物の、治療開始時における診察所見や患者情報（年齢、性別、猫種など）を後ろ向きに解析することで短期的な予後予測因子の同定を目的としております。

4) ご協力をお願いする内容

診療記録を回顧し、必要項目を抽出して調査、解析いたします。新たなご協力、ご負担はありません。

5) プライバシーの保護について

本研究で取り扱う情報は、年齢、性別、診察所見、検査データや治療経過などの診療情報のみであり、その他の個人情報（飼い主様の住所や電話番号など）は一切取り扱いません。情報はすべて匿名化しており個人が特定されるような情報は取り扱いません。

6) お問い合わせ

本研究に関してのご質問や情報提供の停止をご希望される場合には、研究実施機関（モリタ動物病院、神戸アニマルクリニック）にお問い合わせください。